

コム	後期 調査	コミュニケーション論演習：後期	山里裕一 火曜 2 限
----	----------	-----------------	----------------

履修上の注意事項：本書とシラバスを理解し、努力する方

2 年生最初から論文に取り組みます。テーマは自由（どちらを選んでも違いは教科書のみ）。

基本的なポイント：シラバスを必ず一読ください。

□2年生最初から論文に取り組みます。：研究テーマは自由です。

□論文に最低必要なのは「主張」と「論拠」です。

□論拠の代表的なものは「文献」（前期）と「データ」（後期）、に絞り取り組みます。

□学修効果を確保するため、原則、**通年の履修**を前提とします。

*研究テーマが自由なので、コミュニケーション系・アニメ系の演習の履修は任意です。

活動内容

□15回の前半に教科書の担当箇所について資料を作成し発表を行い、後半に自身の研究テーマに関するレポート（論文の原型：5000字程度）を発表・議論を通じて作成します。

□論拠について、前期は文献（教科書と自身の文献研究）、後期はデータ（質的調査：メディア分析）、1年間で論文の原型5,000字程度のレポート2本（卒業研究論文の約半分）を執筆します。（**評価方法**：授業の取り組みとレポート等の課題）

□2年目の形式は基本的に同じ、2年間で論文の原型20,000字程度（卒業研究論文の必要文字数を越える）レポートを4本執筆し、4年生の論文執筆に備えます。

後期、メディア分析（質的調査）から想定できる研究イメージ

□研究対象：各種コミュニケーション、各種メディア（広告、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・スマホに代表されるデジタルメディアなど）、各種表象（番組、ドラマ、映画、アニメ、マンガなど）、その他自由な研究対象が射程に入ります。

□研究方法：任意のメディア表現を調査・分析し、自身の研究テーマの論拠を言語化し、新たな文献研究と合わせてレポートを執筆します。

■一年間の取り組みと成果イメージ■

*研究テーマ自由



担当者の研究テーマ（例）：メディアとサブカルチャーのクロスフィールドであるアニメ研究、クールジャパン現象の研究が中心です。

質問等は、メールで予約の上、研究室にお越しください。yamasato@shudo-u.ac.jp